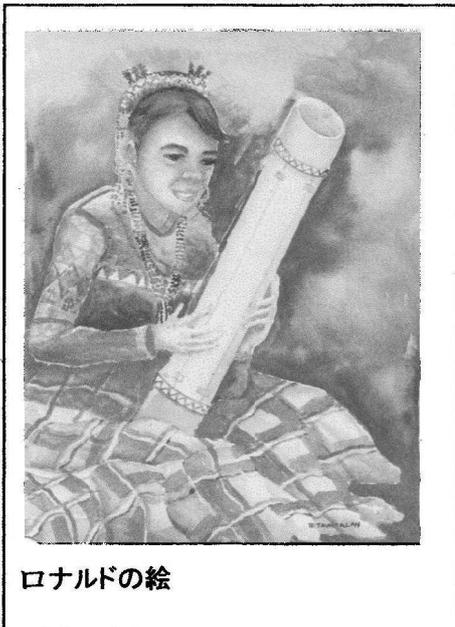


## 現地語習得のため

FPF スタッフのオーランが、家の一部を改築して、私の住居にと提供してくれました。HANDS の活動をこちらで充分に活かすには何としても現地語習得が必須と、同じ敷地の隣の家に住む MSU 初等教育科英語専攻の卒業生であるピンピンという 21 歳の女性から現地語を習い始めました。ピンピンは叔母の家に住んでいて、親戚の子達の家庭教師をしています。ピンピンは HANDS の活動にも興味をもち、今では活動地域に同行して、フィリピン人としての意見を言ってくれるので、いろいろな面で助かっています。

## コロナダル or マーベル？

ここはコロナダル市(コゴン草の平原の意味)といい、人口約 13 万人です。CMB, PIHS の事務所があるジェネラルサントス市(人口約 40 万)から 56km、バスで 1 時間です。マーベル(澄んでいない川の意味)とも呼ばれます。最初の住民であったマギンダオ民族とピラーン民族がそれぞれの言葉で呼んでいたからです。マーベルはピラーン民族の言葉ですので、マーベルの方を使うことにします。私の住んでいる場所は中心地から歩いて 15 分程ですが、最初はどれぐらいの距離なのかわかりませんでした。こちらの人は、トライシクルを足代わりに使い、歩きません。そんなに遠くではないようなので歩いてみたいと思っても、最初の頃は一人で出かけさせてくれず、必ず誰かと一緒なので、歩くわけに行きませんでした。なるべく現地の人と違ったことはしないようにしようとはしていますが、歩いて 15 分程度では乗り物に乗る気にはなれません。最近は一人でも心配なくなり、歩いています。



ロナルドの絵

## 元 FOT 奨学生、画家のロナルド

同じ敷地の貸アパートに、2001 年から 2004 年まで FOT の奨学生だったロナルドが、3 月出産予定の妻ダリアと住んでいます。カレッジ側の手違いで 2 科目が未修了で卒業の資格が得られなかったロナルドですが、画家として、生計を立てています。KCC デパートのクリスマス飾りに応募し、特賞を得、賞金を貰いました。今月初め、たまたま訪れた FIT マートという大型商業施設で、絵画の販売が行なわれており、ロナルドの絵も数点ありました。注文を受けた絵を届けに大きな絵を抱えて出かける姿を時々見かけます。夏は子ども達の絵画教室を開いているそうです。履歴書を書く時はやはりカレッジ卒業と書ければ、ディーラーの受けも違ってくるとの事。家族が増えることもあり、カレッジ卒業の資格を得るために 2 科目の履修費用を得ようと頑張っています。

## 様々な子ども達

日本を発つ時は、どこに住むかもわからず、不安でしたが、幸いにもオーランのご好意により安全な住まいを提供して頂きました。また多彩なフィリピン人の家庭を身近に見ることができる点からも、ここに住めるようになったのは、幸運だと思っています。

オーランには 2 人の子どもがいます。上の子は水泳選手として奨学金をもらってマニラの大学へ。下の子は私立のハイスクールに通っています。又オーラン宅には小 1 と小 3 の親戚の女の子が私立学校へ通うため平日住んでいます。姉妹の世話をする女性も一緒です。ピンピンの叔母には 2 人の娘がいて、上の娘は子ども 3 人を母親に預けドバイで働いています。フィリピンは海外へ労働力を提供する国として知られていますが、その家庭が隣にありました。2 年毎に 2 ヶ月間の休暇がもらえ、今帰ってきています。「ドバイの生活は楽しくはない、お金のため」と言っています。家族の絆をお金で繋ぎとめているだけのように見えますが、国内で仕事がない以上苦渋の選択でしょうか。3 人子どもがいる下の娘は近くに住んでいて週末必ず来ています。やはり夫はドバイで働いていますが、飲むのに使い仕送りはそれ程ではないそうで、子ども達はかなり破れた服を着ています。上の娘の 4 歳の男の子は幼稚園に通っていますが、下の娘の同じ 4 歳の男の子は、経済的に余裕がないと、幼稚園へは行っていません。こちらの幼稚園では読み書きを教える事が主で、試験も頻繁にあると聞き、幼稚園へ行けるから幸せとも思えなくなりましたが。

夕方芝生で遊んでいる子ども達を見ると、マーベルの公共市場で働く子ども達、私達が支援しているお腹をすかせている山の子どもの達など、こちらの様々な子ども達の姿が浮かんできます。同じフィリピン人でありながら、あまりにも違う境遇ですが、皆幸せを感じてほしいと願わずにはられません。